

(3) 主な活動の流れ

主な活動の流れ	予想される子どもの反応	指導上の配慮事項 (※は、評価の観点)	
		HRT	ALT
1 挨拶をする。	・ Good morning. How are you? I'm fine(hot, hungry, happy, so so) .	1 ALT や友達と挨拶し合うことで、活動への雰囲気づくりを行う。	1 子どもと英語で挨拶し、活動への雰囲気づくりを行う。
2 活動のめあてを知る。 ドリンクバー・サラダバーのメニューを選ぼう。		2 本時のめあてを提示し、活動への見通しをもたせる。	
3 話す・聞く活動に取り組む。 <Reaction Time>	<Reaction Time> ・いろいろな言い方があるね。 ・どんな言い方をしたら気持ちが伝わるかな。 ・ハビエル先生は意外なものが好きで驚いた。だから大きな声で言ってみよう。	3 <Reaction Time> ALT の話す内容に応じて “I see.” の抑揚を工夫させる。授業の始めに毎時間取り組むことで、抑揚の付け方に親しませる。また、子どもと一緒に表情やジェスチャー、抑揚の工夫に取り組むことで、子どもにやってみようという思いをもたせる。	3 <Reaction Time> 絵カードを提示しながら好きかどうかを言う。絵カードは本時で扱う飲み物にすることで、飲み物の言い方に親しませる。また、驚きや納得等の反応を引き出せるように絵カードの種類を工夫する。
4 話す・聞く活動に取り組む。 <I like しりとり> ・好きなものを伝えてから相手に尋ねる表現に慣れ親しむ活動 【視点1】	<I like しりとり> ・少し長いけど言えるかな。 ・“How about you?” は初めての言い方だけど、どうですかと尋ねているみたいだね。 ・リズムに乗ると “How about you?” を言えそうに感じるな。 ・手拍子を打ちながら言ったら言いやすかったよ。	4 <I like しりとり> ALT とデモンストレーションをし、やり方の概要をとらえさせる。 HRT : I like apple juice. How about you? / ALT : I like apple juice. HRT : I see. / ALT : I like pineapple juice. How about you? HRT : I like pineapple juice. / ALT : I see. デモンストレーションを続けながら、ALT の尋ねたものが好きという子どもに挙手をさせ、HRT の代わりに答えさせる。ALT と子どものやりとりへと移行することで、徐々に話すことに親しませる。やり方が分かってきたらグループでの活動へ移行する。制限時間内に何人までしりとりを続けられるか、ゲーム性をもたせることで楽しみながら話すことにさらに親しませる。 【視点1】	4 <I like しりとり> HRT とデモンストレーションをし、やり方の概要をとらえさせる。 デモンストレーションを続けながら、尋ねる相手をHRT から徐々に子どもへと移すことで、これらの表現を聞くことから話すことに徐々に移行する。尋ねる内容は、飲み物に限定することで、前後の活動との関連性をもたせる。
5 コミュニケーション活動に取り組む。 <メニュー選び> ・自分の好みを伝えたり、好きかどうか尋ねる活動 【視点2】	<メニュー選び> ・オレンジジュースがいいけど好きかな。 “I like orange juice. How about you?” ・オレンジジュースは好きだけど、炭酸もいいな。“I like orange juice. But, hmmm.” ・好みが違ったね。(がっかりして) “I see.” ・〇〇さんの “I see.” は、がっかりした気持ちが伝わる言い方だね。 ・〇〇さんはがっかりした様子をジェスチャーでも表しているよ。こういうジェスチャーをすればいいの。まねしてみよう。 ・(ジェスチャーを加えて) “I see.” ・相手の反応が分かると楽しいな。反応を示すことは大切なんだね。 ・“I see.” と言うのが楽しかった。 ・友達と好みがなかなか合わなくて、たくさん尋ねたけど、最後に見付かったので嬉しかったよ。 ・今度は〇〇さんみたいにジェスチャーを入れてみよう。	5 <メニュー選び> ドリンクバーとサラダバーで注文したいメニューをペアで決めるという場面に設定することで、相手に伝えたい思いをもたせる。ALT とデモンストレーションし、前の活動で親しんだ表現を使って話し合うことができる様子を見せる。 HRT : I like green tea. How about you? / ALT : I like green tea. But hmmm. HRT : (がっかりして) I see. ALT : I like banana juice. How about you? / HRT : (喜んで) I like banana juice. ペアでメニューを選ばせる。ドリンクバーの飲み物とサラダバーの具材に分けて何を注文するか話し合わせ、初めに飲み物の話し合いを2分間行わせる。その後「Sharing Time」を設け、ペアでのやりとりの様子を振り返り、抑揚の付け方や表情、ジェスチャー等を工夫している子どもを紹介することで、工夫を他の子どもにも広める。また、話し合いの結果決まったメニューが分かるように飲み物やサラダの具材の絵が描かれたプリントに印を付けさせる。 【視点2】 ※ 好きかどうか尋ねたり、自分の好みを伝えたりしながら積極的に友達と話そうとしている。(行動観察・振り返りシート)	5 <メニュー選び> HRT とデモンストレーションし、しりとりで親しんだ表現を使って話し合っている様子を見せる。 2人の好みが一致したやりとりと、一致しなかったやりとりの両方をデモンストレーションの中で見せることで、どのような表現を使ってやりとりをするのか、見通しをもたせる。ALT と HRT のデモンストレーションから ALT と子どものデモンストレーションへと段階を踏んでからペアでのやりとりに移行することで、子どもにできそうだという思いをもたせる。
6 本時のまとめをし、学習を振り返る。	・ Good bye, Javier sensei and Chiba sensei.	6 振り返りシートに感想を書かせ、交流させる。また、ペアでなぜそのメニューにしたのか伝え合うことで、そのメニューに込められた思いについても互いに知ることができるようにする。	6 How was today's class? 今日の活動でよかったところを褒めることで、活動への充実感をもたせる。
7 挨拶をする。		7 Good bye, everyone.	7 That's all for today. Good bye, everyone.